

各地区業況アンケート結果（28年9月調査分）

（28年9月26日）

全国鉄鋼販売業連合会

9月23日締切で、当会役員151名に対しこのアンケートを行ったところ59名の回答があり（回答率39.1%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※ $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、（数は回答実数）

1. いまだ前年割れ続く

問1】貴社の8月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	7	7	20	13	12	59	64
比率	12%	12%	34%	22%	20%	DI-27	DI-61
売上金額/前年同月比	4	6	19	14	15	58	64
比率	7%	10%	33%	24%	26%	DI-52	DI-77

2. 赤字2割、収益状況若干悪化傾向

問2】貴社の8月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	6	21	20	8	4	59	64
比率	10%	36%	34%	13%	7%	DI+29	DI+41

3. 全向け先でDI値プラスに

問3】貴社の営業窓口から見て9月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		18	22	3		43	+35	-34
民間建設向		22	25	3		50	+38	-30
自動車向	1	7	20	1		29	+28	-38
その他需要家向	1	19	31	3		54	+33	-40
仲間取引		13	29	6	1	49	+10	-48
計	2	79	127	16	1	225	+29	-38
比率	1%	35%	56%	7%	1%			

4. 秋需に期待感増す

問4】貴社における向う10月から12月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	7	34	17		1	59	64
比率	12%	57%	29%		2%	DI +78	DI +67

5. H形鋼、コラム以外は未だ過剰ぎみ

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種別	A	B	C	D	E		9月
DI	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	DI											
-42	-38	-48	-46	-36	-39	-48	-32	-13	-28	-32	-27	鉄筋用丸鋼		2	13	7	1	23	-30
-20	-23	-23	-28	-21	-30	-21	-30	-21	-23	-15	-15	構造用丸鋼		1	21	5		27	-15
-22	-10	-14	-30	-12	-15	-22	-23	-11	-21	-11	-12	平角鋼		1	22	3		26	-8
-23	-27	-25	-17	-10	-22	-10	-34	-7	-16	-9	9	H形鋼		4	18	3		25	4
-32	-23	-24	-33	-26	-47	-50	-57	-26	-38	-19	-14	コラム		3	13	1	1	18	0
-19	-16	-30	-28	-13	-17	-19	-28	-12	-19	-10	-8	小形山形鋼		2	24	5		31	-10
-23	-19	-24	-28	-19	-17	-21	-30	-15	-22	-17	-18	中形山形鋼			26	5		31	-16
-30	-23	-24	-25	-27	-21	-18	-30	-21	-29	-18	-24	溝形鋼		2	24	4		30	-7
-34	-28	-28	-27	-25	-25	-37	-46	-64	-36	-22	-19	軽量形鋼C形		1	20	4	1	26	-19
-25	-40	-32	-57	-29	-44	-44	-32	-32	-33	-17	-28	軽量形鋼広巾			15	2	1	18	-22
-45	-57	-62	-40	-52	-58	-52	-62	-41	-55	-43	-44	冷延薄板			19	7	1	27	-33
-42	-55	-61	-33	-33	-59	-41	-36	-35	-40	-35	-29	熱延薄板		1	27	6	1	35	-20
-52	-48	-59	-32	-44	-62	-53	-62	-46	-50	-53	-34	表面処理鋼板		1	21	7	1	30	-27
-56	-62	-56	-42	-57	-69	-61	-63	-45	-48	-48	-29	酸洗鋼板			23	6	1	30	-27
-49	-49	-58	-44	-38	-63	-54	-47	-32	-30	-23	-22	中板		1	25	5	2	33	-24
-46	-44	-38	-30	-29	-57	-44	-44	-27	-16	-21	-20	厚板		1	23	9		33	-24
-17	-17	-14	-22	-18	-25	-31	-15	-11	-11	-4	0	極厚板		2	10	4		16	-13
-23	-25	-23	-35	-30	-22	-29	-25	-30	-11	-21	-17	縞板		1	23	3	1	28	-14
-29	-34	-36	-34	-33	-32	-38	-41	-32	-28	-26	-24	中径角			26	5	1	32	-22
-25	-25	-21	-32	-14	-19	-29	-33	-25	-33	-26	-17	ガス管黒		1	27	5		33	-12
-20	-19	-20	-31	-20	-24	-26	-31	-27	-23	-31	-25	構造用鋼管		1	26	4	1	32	-16
-33	-33	-35	-33	-27	-38	-35	-38	-28	-28	-24	-20	計	0	25	446	100	13	584	-17

6. 価格転嫁は今後の需要次第

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	丸棒メーカーの在庫はタイトであることに変わりない。スクラップ価格も上昇傾向で、秋需に向けて価格上昇の雰囲気をお知らせ。
	B	大型案件は少しずつ動き出している基調だが、店売り出荷は中小物件が少なく乏しい状況。販売低迷が長期化しており、競争も厳しく弱含み基調で進む状況だが、メーカー値上げで中央相場の回復基調が聞こえ始めており、今後に期待したい。
東北	A	漸く引合いが増えてきたが、例年この時期としては、まだまだ少ない。一部、製造業で好調の兆しがあり、補正予算とともに期待したい。
	B	秋需も期待はずれ。下期に期待する。
	C	荷動きは決して良くない。素材単価の下落が続く。一次加工も盛上りに欠ける。一次加工の単価も下降気味である。小口商売が増加し、配達回数が増えた。
新潟	A	8月はスポット物件もあり、稼働日数の割に数字はクリアしている。春先から比して大きな動きはなく停滞感はない。
	B	やや引合いが出てきたが、販売価格を上げる状況までには至っていない。関東物件に期待。
	C	メーカー値上げ分は、まったなしの時が来たようだ。仕事の少ない中、販売価格を上げるには、まだ抵抗が強いが、ユーザーにお願いするしかない。
	D	薄板需要は季節的要因で暖房、建築金物は増加傾向である。中国向けの器物は堅調、その他は横ばいである。Hグレードファブは首都圏案件を中心に来年夏まで山積み確保しているが、工程遅れなど直近の稼働は良くない。Mグレードファブは2～3ヶ月の山積み確保している。目先、短納期対応で繁忙である。一般製造業者は業種によって濃淡があるが、全体的に盛上りに欠け、低位横ばいである。市況はメーカー値上げを受け下げ止まり、極端な安値は消滅した。反転ムードに入ってきたが、値上げ実行には少し時間を要す。
	E	首都圏で漸くオリンピック関連の需要が出てきた。10月以降に期待が持てる。メーカーも安値を切り上げているので、需要が本格化すればいい環境になる。
東京	A	(形鋼) 市況はジリ安状態である。需要は少し増加したと思われるが、大きなインパクトはない。市況が底を打つにはメーカーの大胆な策が必要である。
	B	高炉メーカーは店売り向けに値上げを行ったが、その転嫁が進まず、採算は厳しい状況にある。需要は仮需を含め、全く変化がない。
	C	8月販売数量はリーマンショック後の2009年～2010年以来の最低水準だった。市況は下げ止まっているが、実需不足で上昇力はない。値上り玉に手を付け始めており、価格転嫁が急務である。久しぶりの値上げ交渉に駆けずり回る毎日だ。
	D	(鋼管) 8月末から9月に入り、日割り出荷は増加。具体的な引合いも増加している。
	E	荷動き悪く、売上低迷。
	F	需要は低迷したままで、荷動きに変化は見られない。形鋼はメーカーが値上げを発表し、価格転嫁に向け動きたいところだが、需要次第である。

静岡	A	8月の夏休みを境に小中物件は増えてきた。但し、さらに短納期化し、価格も上られない状況が続いている。
	B	当地区は産業の業種が少なく、好調と言える企業はあまりない。公共工事は耐震関連の工事がメインで、鋼材の需要増には結びついていない。メーカー値上げ、需要不振、販価未転嫁で収支は厳しい。市況度外視と思われる商売が散見される。
石川		モノ造りはまあまあの仕事量がある。建機は良くない状況だが、それなりに動いている。来月から建材、土木関連で出件があるだろう。建築は地場コン、大手中堅に斑模様がある。
富山		トラック、バスメーカーの工場受注が50%増加した。長期的に安定した需要が見込めるため業界拡大が始まるのではないかと。
愛知	A	良くも悪くもなくという状況は続いている。良くなるという期待ばかり大きく期待はずれ感が強く、ムードとして悪い。自動車は大手以外良くない。大手ががんばっている分、コイルセンターの稼動状況を支えている。しかし、自動車以外の建築設備、工作機械、鋼製家具などの需要が停滞しているため盛り上ってこない。このような状況が続けば信用問題が増えてくるだろう。
	B	某自動車メーカーの燃料問題などの影響が各下請け業者に大きく出ている。生産体制の立て直し待ちで、先行の不透明感が増長されている。
	C	集購分、前年並になったが、前年の数字も良くなかったので単純には喜べない。メーカーの値上げ発表があった。需要はまだまだで価格転嫁が大変である。某自動車メーカー向の下期生産はステイで期待はずれであった。店売り価格の値上げが難しい。設備関連の需要がなかなか出てこない。
	D	今期は昨年より良い。設備関連が動いている。建築の中小物件が出ている。
	E	大手建築案件は一服状態で商社の物件部隊は閑散としている。その一方で中小の加工は忙しく、短納期、小ロットの明細が目立つ。大手自動車向価格の据置発表と鉄鋼メーカーの値上げ表明の間で、流通は更に採算が悪化している。
大阪	A	8月以降、物件の端境期かどうか分からないが、工事案件が徐々に減っている感じである。大、中、小を問わず物件がない。従来、RC造だった老人ホーム、特養、高齢者住宅といった案件はほとんどがS造に変わっており、同様の物件で小規模な物は木造に変わっている。需要構造そのものが大きく変化しつつある。
	B	メーカーの値上げ発表は、ほぼ手揃ったが、足元の荷動きが悪く、転嫁には時間がかかりそうである。
岐阜		盆明け後も低調だが、納期対応で目先はバタバタしている。一次加工、二次加工に特化する同業者も増えており、需要の傾向は変わりつつある。
広島		8月下旬頃から暑さの和らぎとともに引合いが増えている印象だが、先を見通してみると自動車、設備関連、農機、工作機械、産機など好調な秋需を味わえる環境ではない。原料高を背景に各メーカーは値上げの体制だが、流通としては板ばさみの苦しい販売が予想される。
岡山		足元の動きは緩慢としており、相場は低位で張り付いている。但し、今後の中小物件の話が少しずつ出てきた様に感じる。また、仕入れもこれ以上の値下げは考えられず、反対に軽量製品は値上げの動きとなっている。相場の立て直しが急務である。過度の期待は禁物だが、少しは秋需に期待したい。

北九州	引合い、日々のお荷は増加傾向である。各品種とも在庫の山が低く、最近は定尺、プレートのお荷動きが良くなっている。当用買いが中心で足元を見られ、相場が上る気配はない。利益は稼げないがメーカー値上げの話も多く、下値追いは避けている。
福岡	8月は稼働日数が少ない中、盆休み前の駆け込み需要が多かった。休み明けは少し動きがなかったが、20日以降、見積り、引合いも多くなり忙しかった。この流れは9月も続きそうである。業種的には自動車、食品関係の仕事が多く、また、半導体関係の引合いも増えてきた。与信については、大きな倒産もなく、仲間と情報交換し管理していきたい。